



2009年11月8日発行
新潟市水道局広報紙

vol.43

水のこと、
もっと知りたい

先案内

<http://www.city.niigata.jp/info/suido/> E-mail somu.ws@city.niigata.lg.jp

シリーズ
水とスポーツ
7
新潟モンスタースJr
ソフトボールクラブ



目次

水道料金および下水道使用料の 毎月振替のお知らせ

平成20年度 新潟市水道事業決算について

平成20年度 水道事業ガイドライン業務指標を 算出しました

水道事業中長期経営計画(マスタープラン)の
事業評価結果をお知らせします

インフルエンザ予防に水道水で手洗い・うがいを!
広告主を募集します
水知りモノ語り

秋空に向かってかっ飛ばし、走って 守って、投げて、笑顔のソフトボール!

「打って、走って、守っていると汗が吹き出て、最高に気持ちいいんです。だから、練習後には私たちが支えてくれるグラウンドに感謝の思いを込めて、潤い水を掛けてあげます」

額から流れる汗を拭きながら話すのは、発足して8年目の『新潟モンスタースJrソフトボールクラブ』の子どもたち。キャプテンを務める小学6年生の女の子のポジションはキャッチャー。ピッチャーがストライクを投げると、「ナイスストライク!次も入るよ」と声を掛け、チームの雰囲気盛り上げています。

ヒットを打って、ホームベースを踏み、1点を取る活躍をした小学5年生の男の子は、「野球と違って、ソフトボールは下手投げがあるから面白いです。でも男子がもっと入会してほしいな」と話します。北京オリンピックで日本代表が世界一になるのをテレビで観て、自分もやりたいと入会した小学2年生の女の子はサードを守っています。「いっぱいボールが飛んでくるポジションなので、捕れなかったらどうしようとドキドキします。でも捕れたときはすごくうれしい。いつかソフトボールがまたオリンピックの競技種目になったら、そのときは選手として出場したい」と目を輝かせます。

『トキめき新潟国体』では少年男子の部が第3位と好成績を残したソフトボール。いつかのチームの子どもたちも先輩たちと同じように国体で活躍することでしょう。